2022年度 桜ケ丘町内会 運営改革 進捗中間報告 2022.9.30

■背黒

- ◆町内会設立(運営開始)後、半世紀(約50年)経過、時代(環境)変化にマッチした運営改革が急務。
- ◆世帯の二極化(働き世代・リタイア世代) → 5年/10年後を見据えた中長期的 運営改革が必要。
- 狙い・・・①子どもやシニアやさしい街づくり ②緑を守る環境美化・保全活動強化 ③時代変化(多様化)への対応
 - ◆町内ボランティア (桜プロジェクト・高齢独居宅対応等) 拡大 ·同好会/サークル活動充実 ·子ども会との連携強化
 - ◆班長・役職(本部役員含む)の負担軽減 → 本部役員会・班長会運営方法見直し・慣行行事の見直し

